

平成29年度地方創生推進交付金事業総括表

担当課：商工観光課

事業名	信越自然郷におけるDMO構築推進事業		
事業主体	栄村		
連携自治体 (○代表自治体)	○飯山市、中野市、妙高市、山ノ内町、野沢温泉村、栄村、信濃町、飯綱町、木島平村		
	188,000円	(内交付金)	94,000円
事業概要	①マーケティング調査実施 ②広域観光旅行商品造成 ③パンフレット・マップ等PRツール作成(多言語版含む) ④サイクリング環境整備(サイクルステーション設置) ⑤多言語通訳クラウドサービス導入		
重要業績 評価(KPI)	観光消費額 延宿泊数 飯山駅観光案内所(ワンストップ)窓口利用者数	目標値	実績値
		449億円 575万人 66,773人	433億円 554万人 51,762人

事業内容（平成29年度に実施した内容）

- 日本版DMOの強化と事業推進
信越自然郷の観光地づくりの取り組みをマネジメントする日本版DMO組織を強化し、広域旅行商品の造成やエリア情報の一元的発信等として、日本版DMOの運営、マーケティング調査を行いました。
- 広域旅行商品の開発と販売
「保養・獲得型」で楽しめる観光商品(広域旅行商品)の充実を図り、本エリアならではの価値である「アウトドア・食文化・リラクゼーション」を提供できる商品をJR等と連携し、企画・造成し、提供できる環境づくりとして、新商品開発、共通リフト券の発行、おさんぽバスの運行を行いました。
- 「信越自然郷」のブランディングとプロモーション
信越自然郷エリアは、一つの文化圏として価値ある観光地域と認知され、国内外から支持されるために「千年風土の豊穡の地」「山岳高原観光地」のブランド確立を図り、他地域と差別化できる高い価値の発信として、情報ツールの企画及び製作、重点市場への情報発信、ブランド構築を行いました。
- 信越自然郷におけるNAGANOモビリティのための環境づくり
365日いつでも信越自然郷エリアでNAGANOモビリティ「食文化×リラクゼーション×アウトドア」が楽しめる環境づくりを長野県・市町村・企業(アウトドアメーカーとの連携)とともに、広域サイクリング環境の整備、NAGANOモビリティの推進に取り組みました。

事業効果

栄村としては、JR東日本長野支社で秋山郷のツアー企画を行っていただき、特に関東方面に栄村秋山郷を知って頂く機会を得たこと。広告媒体でも、信越自然郷のエリアと一緒に掲載することで周遊ができ、特徴ある地域である認識を観光客に認識して頂けたこと。共通リフト券の利用にあっては、昨年度と同様(14名)であった。
以上のことから財政規模の小さな村としては、少額の負担で宣伝効果に大きな成果があったと思われる。

今後の取組み（平成30年度以降の取組み）

平成29年度の事業内容の他、交通等観光インフラの整備充実として、観光2次交通の充実やサイクルステーションの充実等を図る事業を展開しています。

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	A 大変効果があつた=2	B 効果があつた=4	C あまり効果が無かつた=0	D 効果は無かつた=0	→	効果があつた
<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRでの企画により、多くの方に栄村の魅力を知って頂いたことは、たいへん貴重で今後の観光に大きな期待をしたい。 ・外国人(中国含)が全国の観光地に来ている現状で、会話(案内)がスムーズにできる取組みもお願いしたい。 ・事業効果にもあるように東京駅などのポスターがとても目立っていて効果的だったと思います。あとは、そのお客様を栄村に来た時に「おもてなし」をしっかりと、リピーターを増やせることを考えてほしいです。 ・少額の負担で宣伝効果を大きくできたことは、大変評価できると思います。 ・マーケティング調査の結果を受けて行っている事業はあるでしょうか。 ・秋山郷のネームバリューを活かした観光客誘致に尽力しておられることが、ご説明で把握できました。 ・秋山郷は、初めて訪れる方には、自家用車やレンタカーでのアプローチがやや難しいかもしれませんので、周遊バスによる飯山駅等とのアクセス向上は効果が見込めるのではと思いました。 ・広域的な取組を活用しながら、村としての村の観光を進めることで、より効果が出るように努力されていると思います。 ・引き続き、秋山郷を含めて村全体の観光資源に波及するように取組を進めてほしいと思います。 ・知ってもらうには、イベント、PRが大切かと思ひます。 ・きめ細かなPRを期待します。 						

平成29年度地方創生推進交付金事業総括表

担当課：教育委員会事務局

事業名	苗場山麓ジオパーク推進事業		
事業主体	栄村		
連携自治体 (○代表自治体)	○津南町、栄村		
総事業費	4,600,038円	(内交付金)	2,210,000円
事業概要	苗場山麓ジオパーク拠点整備 観光案内拠点の強化 展望台、解説看板等の設置。 苗場山麓ジオパーク推進事業 ポスター・パンフレットの作成、商品開発、地域資源調査、ジオガイド養成、専門誌の発行。		
重要業績 評価(KPI)	平成29年観光入込客数 宿泊観光客数	目標値	実績値
		56万人 9.55万人	60.7万人 10.1万人

事業内容（平成29年度に実施した内容）

(1)ソフト事業

①PR事業

ポスター製作(ほくほく線車内掲示)、のぼり旗製作、ハンドブック増刷、ホームページ維持管理
オリジナルカレンダー製作・配布、ガイド養成講座、苗場山麓植物民俗事典発行

②調査事業(栄村分)

月夜立、雑魚川、硫黄川

(2)ハード事業(栄村分)

①月夜立ビューポイント整備

②解説看板設置…中野の露頭、天代の露頭、甘酒村跡、ユモトマユミ

事業効果

- ・訪問者に配慮した解説看板を新たに4カ所設置することができた。(村内累計11カ所)
- ・月夜立岩を眺望できるポイントに駐車スペースを確保し、雑木を除去することで訪問者が安心して素晴らしい眺めを見ることができる。
- ・ジオ関連ツアーの開催
回数:68回、人数:1402人

今後の取組み（平成30年度以降の取組み）

- ・苗場山麓ジオパークの4年間の活動について、平成30年10月31日～11月2日に審査員による再審査が実施される。今までの活動を振り返るとともに今後も津南町と連携し苗場山麓ジオパークを活かす取組を進める。
解説看板の設置、ジオサイトマップの改訂、ジオサイト区分の見直し、ジオサイトの保全等

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	A 大変効果があった=2	B 効果があつた=3	C あまり効果が無かつた=1	D 効果は無かつた=0	→	効果があつた
------	--------------	------------	----------------	-------------	---	--------

【委員意見】

- ・ジオの取組、津南もですが栄村にはめずらしい、すばらしい眺望(景色)できる所があるので、もっとアピール及び整備を進めて頂きたい。特に上野原から鳥甲山を見れる場所。
- ・解説看板の設置の増加は、とてもいい取組みだと思います。しかし、それに比べて、栄村のジオパークをめぐる方の人数が少ないと思います。また、栄村の人のジオパークに対する思いがあまり感じられません。ジオパークを利用して、今後どうしたいのかを、ハッキリとさせた方がいいと思います。
- ・ジオ関連ツアーは、積極的に開催されているようで、回数、集客数も多く大変良いと思います。今後、期待しています。
- ・常民塾をはじめ、秋山にお住まいの方々や専門家と交流しながら、地域を学ぶ取組みが準備開始されていることを把握できました。ご説明の中にあつた、伝統の焼き畑復活に向けた取組みも重要なものと思いました。ソフト事業を通じて秋山郷にアクセスされた域外の方々、村内で動き出している。
- ・「手づくりの企画やスタディツアーにふれることができると、他の地域にはないオリジナリティのある受入れ活動になる可能性もあるように思われます。訪問者と受入れ側とのマッチングは様々な地域で課題になっておりますが、秋山郷の伝統文化や歴史、自然等に関心のある大学生等を対象にしたスタディツアーは、繰り返し学びに訪れる若者を増やしていくうえでもひとつの方策かと思いました。大学関係者や大学生へのPR等で、当方にできることがありましたら、進めてまいります。
- ・ジオパークの取組は幅が広いので観光面がその土地の文化の保全(無形含む)を継続的に行っていただければよいと思います。
- ・村の人にはジオパークの理解が大切だと思います。
- ・村の魅力に触れる機会を多くしてほしい。